



ご挨拶

日本バルカー工業株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

瀧澤 利一

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

読者の皆様には日頃より本誌をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

世界経済における新興国のポジションは、従来の生産拠点としての位置づけから巨大な消費地としての市場に移りつつあり、まさに世界経済は新興国を中心として展開する構図が鮮明になってきております。一方、日本国内に目を向けますと、法人税実効税率の5%引き下げが打ち出されたものの国際競争力という面からはまだまだ不十分であり、円高や原材料費の高騰などの要因により、直ちにビジネス環境の悪化から抜け出すのは難しいのではないかと考えられます。

こうした中、バルカーグループは、基盤となる国内事業の強化はもとより、グローバルな事業展開を加速しております。予てより中国・東南アジアを中心に生産・販売・研究開発を展開しておりますが、さらに昨年には、ダイキン工業株式会社と中国においてふっ素樹脂ビジネスにおける資本・業務提携をスタートさせました。また、中国における生産拠点の1つであるシール上海有限公司が昨年設立10周年を迎えるなど、地域に根ざした企業活動を続けてきた結果、海外社員の中から幹部として活躍する人材も現れております。研究開発の分野でも、中国総合研究所からの開発製品が上市されるなど、海外拠点における機能強化が着実に実を結んできております。

今後はこれらの海外ネットワークをさらに活用してアジアを中心とするグローバルビジネスを強化すると同時に、基盤であるシール事業と機能樹脂事業に加えて、特徴のある技術を活用した膜ブレン事業などの展開を加速させたいと考えております。バルカーグループの理念“The VALQUA WAY”を礎に「環境にやさしいモノづくり」と「顧客感動の提供」を実現すべく邁進してまいります。

最後になりましたが、今後ともなお一層のお引き立てを賜りますようお願いいたしますとともに、読者の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。